

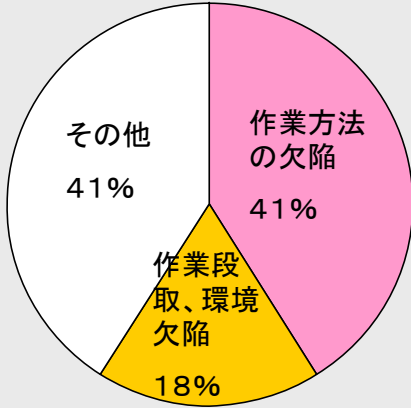
IV. IT活用の狙い目は？ それでリスク低減はできるのでしょうか？

前章でIT活用が期待される現場ニーズを、過去の災害分析から確認してみると3つの支援機能が浮かび上がります。 その効果のほどは？……

●IT活用の狙い目 <最近(H17)のある製造業の休業災害の分析から>

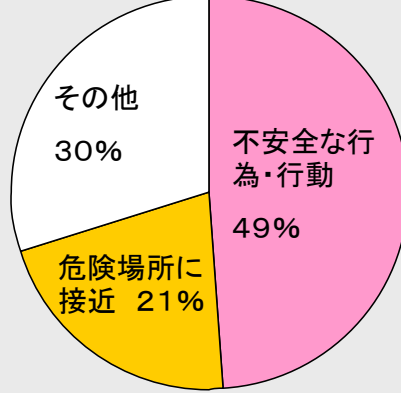
元データ：(社)日本鉄鋼連盟報告書(平成17年度休業災害185件の分析)

【不安全状態別分析】



約60%が作業前の計画不備

【不安全行動別分析】



約70%が作業実行時の不安全行動や不注意、無知

①作業設計支援

作業開始前にデータベースを検索し、作業手順の作成支援。
データベースは教育訓練にも活用可能

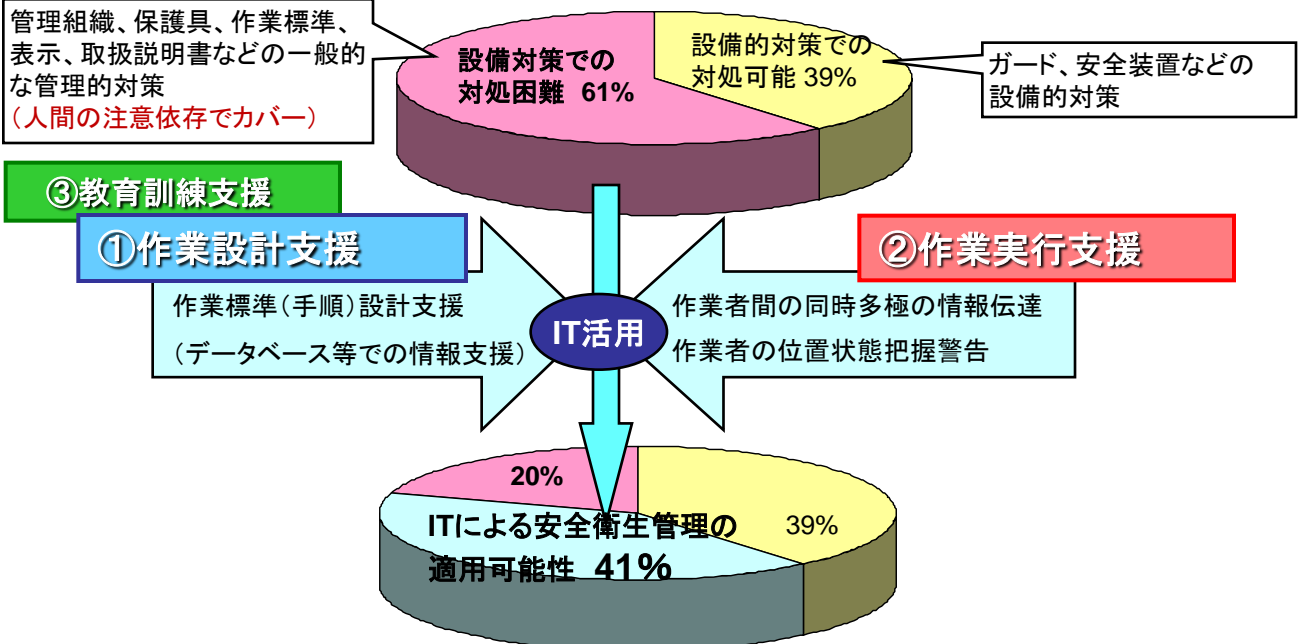
③教育訓練支援

作業者の位置検出、作業状態の確認、作業開始前の安全上のポイントの指示、マニュアル参照。
疑似体験教育支援

②作業実行支援

●IT活用の効果 <過去(H4~H13)のある製造業の死亡災害分析から>

元データ：(社)日本鉄鋼連盟報告書(死亡災害分析WG報告書)、IT可能性分析：(独)労働安全衛生総合研究所



死亡災害の約4割に、IT活用による安全衛生管理の適用可能性！

(但し安全防護物の適用等の設備的対策に比して確実性に劣るため、その効果には限界もあります)